

単元名 方言と共通語

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 共通語と方言との違いを理解することができる。
 (3) 共通語と方言との違いに関心を持ち、それらを理解しようとする。

標準的な展開例

05010302_001

【教材名】方言と共通語 (P. 184～P. 185)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 方言や共通語の特徴を知る。 ★方言と共通語の特徴を知ろう。 ○教科書(P. 184)を見て塩気が足りないときに何というか話し合う。 ○教科書(P. 185)上段を読み、方言と共通語があることを知る。 ○①の設問に取り組む。 2 方言や共通語の効果やよさについて考える。 ○②の設問に取り組む。 ○③の設問に取り組む。 ○学習を振り返る。	・方言分布図が載っているので、教科書を開く前に聞くとよい。 ・教科書(P. 106)「たずねびと」のどこに方言が使われているか押さえた後、効果を考えさせる。 ・どちらも大事なものであることを押さえる。 【評】方言と共通語のよさを考える活動を通して、それぞれの意義を感じようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】方言と共通語のよさを考える活動を通して、それぞれの違いについて理解する「知識・技能」を評価する。 ・「いかそう」を読み、これからの生活に生かす視点をもたせたい。

【 備 考 】